

「民話の会」発足

長岡 会員29人 出前語りも



今後の活動を話し合った「長岡民話の会」の結成総会
＝長岡市今朝白1の阪之上公民館

受け継ぐ知恵と優しさ

昔話の良みを見直すとともに長く後世に伝えていくこと、「長岡民話の会」の結成総会がこのほど、長岡市の阪之上公民館で開かれ、具体的な活動を決めた。

子どもたちは、親から子、孫へと語り継がれる民話から、生きる知恵や

勇気、優しさを身に付けてきた。時代が変わっても民話の意義は変わることはない。そんな思いを持った、長岡市芸術文化振興財団の「昔話語りべ養成講座」の受講者らが昨年、結成準備会を設立。会員は現在二十九人になる。

結成総会では名称を「長岡民話の会」に決めた後、役員を選出、今後の活動日程を含めた運営方針を確認した。主な活動は、高齢化が進む語り部の育成や、県内各地に

伝わる民話・伝説の採集と研究で、要請があれば応じる語りの「出前」にも取り組む。

会長の番場仙司さん（六四）は「民話の持つ温かさや人への優しさ、生きる勇気など、後世に語り伝えていきたい」と張り切っている。

会では会員を随時募集している。年会費二千元で活動は毎月二回（昼一回、夜一回）。問い合わせは事務局大貫さん、02558(29)3929へ。

料理や音楽で
インドを体験

10日、大和

伝統料理や音楽を通してインドを知る「インド文化講座 ナマステ・インドア」が十日正午から、南魚大和町浦佐の「働く婦人の家」で開